

【特選】

車椅子の人と私たちの暮らし

西部中学校 二年 大島 しおり

私は、最近車椅子を利用する人との関わりが多くなりました。その出来事について四つ紹介します。

一つ目は、授業で習ったことです。小学生の時と中学一年生の人権集会で車椅子を利用している人がお話をしに来ました。人権集会とは、人権について考えるときともに、自分や周りの人の人権について見つめ直す機会です。車椅子を利用している人は、

「生まれつき骨が弱いから、車椅子を使っています。」
と言っていました。その時私は、可哀想だな、と思いました。
た。

しかし、車椅子を利用している人は、

「可哀想だと思わないでください。」

そう言いました。私は、車椅子を使っても使っていないくてもみんな一緒だなと思いました。また、そこでは、車椅子を利用している人が困っていたら、優しく、

「何か手伝うことはありますか？」

と聞いてみるのが大事だということを学ぶことができました。

二つ目は、小学五年生の頃に行った車椅子体験のことで、車椅子体験とは、車椅子を押すこと、車椅子に乗ることの両方を体験することで、車椅子を利用している方の気持ちを理解し、バリアフリーや自分たちに何ができるかを考えるきっかけにしていたたく体験のことです。そのときは、車椅子の乗り降りの仕方や階段のところはどうするか

トイレをするときはどうするか、車の乗り降りの仕方など
たくさんのことを教えてもらいました。実際私も車椅子を
体験しました。その時は車椅子に乗る側と車椅子を押す側
の両方を体験させてもらいました。乗る側は、重くて、自
分で車椅子を操作するのが難しかったです。押す側は、曲
がるときや段差があるときに少し工夫しないとうまくでき
なくて難しかったです。とても良い体験でした。

三つ目は、試合会場で会ったことです。柔道の試合の日
に会場に車椅子を利用している人がいました。人がたくさ
んいるなかで、車椅子を利用している人は大丈夫かな？と
思いましたが、会場のみんなが優しい心を持っていたおかげ
でスムーズに何事もいきました。そのことに、わたしは
みんなで協力することの凄さを感じました。また、車椅子
を利用しているひとは大変なのに試合会場まで来て、家族

の試合を見るという行動に私は感動しました。これなら、
いろんな人がたくさん来ることができる安心さがあるな、
と私は思いました。

四つ目は、バスを利用したときのことです。バスはノン
ステップバスでした。ノンステップバスとは、床面を超低
床にしたことで乗車すると直接フロアーになるため、乗り
降りしやすい構造になっています。また、スロープ板を設
置してあるため、車椅子のまま乗降できるようになって
います。乗降時にさらに床面を下げるニーリング機能によ
り、スムーズな乗降ができるよう工夫されているバスのこ
とです。バスセンターでたくさんの人が順番にバスが来る
のを並んで待っていました。バスが到着してドアが開くと
きに車椅子を利用している人が来ました。バスの運転手さ
んは、車椅子を利用している人を優先して急いでスロープ

板を使い、乗車させ、車椅子の車輪を固定していました。

ました。また、施設だけではなく自分たちにできることは

その後に私たちは順番にバスに乗っていきました。もちろん

どんどんしていこうと思いました。

んバスは、ぎゅうぎゅう詰めで乗りたい人も降りたい人も困るほどでした。しかし、誰も文句を言わず、口出しもせずに乗っていました。私は乗っていて素晴らしいなと思っていました。なぜなら、今まで私は、誰かがイライラして文句を言ったり、悪い意味でざわざわなったりすると思っていましたが、みんないい人たちばかりで誰も文句を言わず楽しい空気の安心するバスだったからです。私が思っている以上にいい世の中だなと思いました。私は、「テレビばかり見ずに世の中に足を踏み出してみる」というのも大切だなと思いました。

最後に、私は、車椅子を利用する人、利用していない人関係なく、過ごせる施設がたくさん増えたらいいなと思い